

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No219号 2012.11.15
発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

11月7日有楽町 JAL プラザ(電気ビル)前、8日は日航本社前で宣伝行動

JALはすべての争議を自主解決せよ!

久しぶりの秋晴れで賑わう有楽町電気ビル前に、JAL 不当解雇撤回裁判の原告団、日東整争議団、そして支援に駆けつけてくれた東京争議団等の仲間が集結しました。日東整争議団と JAL 不当解雇撤回裁判原告団が共同で実施している定例の JAL プラザ(有楽町電気ビル)前での宣伝行動です。11時半の JAL プラザ前でお昼休みを控えたサラリーマンやショッピングを楽しむ人たちがのぼり旗を見上げたり、訴えに耳を傾けてくれていました。



航空連 スカイネットワーク

野口書記長

日東整は日本でも指折りの優秀な整備会社だったのに、JAL によって全従業員がクビになった。不当労働行為によって潰された事を明らかにして、雇用を継続させなければいけない。



署名してくださった方の声

[こういうことは遠慮してはいけない。堂々とやりなさい]
「この前 JAL に乗ったけど座席が汚れていた。そこにベテラン不在を感じる。」

東京争議団 寺島さん
教員として勤めていたが、産休を2回とったことにより、解雇されそうになった。組合を作って裁判で闘った結果、職場の労働条件が改善した。なぜ裁判までして職場に戻るのか、と聞かれますが、JALの人たちと同様、安全安心な職場にあってほしいからです。

東京争議団 小関団長

今まで、東京争議団は 740 件を超える争議を解決してきた。稻盛前会長は子会社である日東整をつぶした。これが経営の神様のやることでしょうか? そして再上場して濡れ手で栗の大もうけをする。これが事実です。



明治乳業争議団 二瓶さん

食べ物の安全を守ると、空の安全を守るのは基本的に同じ。ともに連帯して、職場にもどるまで、闘いましょう。



山口団長

職場では大変な人手不足で、安全安心な JAL になっていない。骨折してフライトを継続した機長のケースにも知らんふりを決め込んでいる。日本全国に訴えていく。



弁護団の今村弁護士も応援に!

11月8日 日本航空本社前で宣伝行動

原告福永さん

植木社長の言葉には、開いた口がふさがらない。コックピットの中の機長と副操縦士の関係を大将と二等兵だと表現した。それだからパイロットの流出が100人にもなる。会社が破綻した原因は現場にはない。必要なジャンボ、鯨のマークの貨物会社、ヘリコプター会社、ドルの先物取引についても、経営者は責任を取っていない。今の職場は皆で利益追求するあまり、台風に向かって突っ切っていく航空会社になってしまった。信頼されてこそそのJALではないか。社員はでてきて、ビラを受け取れ！

原告藤田さん



11月になると希望退職の面談を思い出す。私は後進に道を譲れと言われた。すでに労働条件など色々なものを譲ってきたのに、こんどは、働く場を譲れと言われた。

しかしこればかりは簡単に譲る訳にはいかない。辞めるときは自分の意志で辞める。この決意は今も変わらない。今電機産業の13万人リストラが横行している。社会に吹き荒れるリストラの嵐と連携して闘っていく。

全労連 大黒議長



この夏、原告と一緒に大汗をかきながら、各労組に支援のお願いをしてまわった。勝利するまで支えきる覚悟である。電機産業の13万人リストラ、IBMの解雇、最近は企業の横暴さが目立つ。働く仲間が連帯してこの横暴を許さない社会を作ることが必要。日東整を会社ごと潰すなど、まったくひどい。そして、史上最高の収益をあげながら、税金を払わなくともいいなど、全く不当である。日本航空は日本不当航空なのではないか。

大田区労協 星野議長



寒い中、多勢の人が集まり支えあっていることがすばらしい。植木社長は皆が努力して、利益がでたといっているが、2年前の破綻の本当の原因はなにか。リゾートホテルの失敗など、165人は必要のなかった解雇である。CAの新規採用940人、一方で84人は解雇されている状況、経営者の感覚は一体どうなっているのか？

全水道 諸隈さん



空の安全に不安がある。首切り自由という経営者にとって都合のよい社会を作ってはいけない。

この問題は国鉄の分割民営化を思い出す。国民のためになるといつておきながら、結局都市部と地方の格差が広がっただけではないか。安全も労働者も切り捨てるのは間違っている。全水道東水労は物販などJAL争議団に協力していく。

医労連 山田委員長



医労連とJALとは命を守るという視点で同じ。看護士をしているが、経験にまさるものはないと思っている。経験があればそれに裏打ちされた対応ができる。生き生きと働き続けられる職場を求めて一緒に闘いましょう。

JALの人たちのスゴいところは、雨が降っても、風がふいても、宣伝行動やパレードを実行するところ。私たちの間では、きっとヤリがふってもやるんじゃないかと噂している（笑い）

社保庁 国枝さん



11月2日の中央総決起集会は600名の参加で、大成功した。国策での大量解雇という点で、JALと社保庁は似ている。経営状態が好転したのに、JALは解雇した。社保庁は年金業務は継続して必要なのに解雇した。そして、両者とも新規大量採用している。なんとしてもこんな、不当解雇を認める



わけにはいかない。解雇自由の流れを止めたい。一緒に明るく闘って行きましょう。」

行動に参加した大学生の方の感想

- ゼミの仲間3人できました。若い人がもっと来たらいいのに。
- 意識的に流れを作られている中で、裁判を勝ためには、もっと大きな運動が必要なのではないでしょうか。